

行政視察等報告書

令和元年7月11日

米子市議会議長様

会派名 信風  
代表者氏名 中田利幸  
提出者氏名 伊藤ひろえ



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	中田利幸、安達卓是、伊藤ひろえ
期日	令和元年7月3日から令和元年7月5日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容）	7月3日 愛媛県今治市 地産地消と食育、食と農のまちづくりについて 7月4日 愛媛県大洲市 交流事業と観光まちづくり施策の取り組みについて 7月5日 愛媛県松山市 「RPA先進都市まつやまの実現に向けて」に係る取り組みについて
〔所感〕	別紙のとおり
経費	旅費総額 132,930円

地産地消と食育、食と農のまちづくりについて

(令和元年7月3日) 14:30~16:00

今治市役所

農水港湾部農林振興課地産地消推進係：阿部隆太様

農水港湾部農林振興課：佐伯洋一課長

教育委員会事務局学校給食課：塩見慎一郎課長

教育委員会事務局学校給食課：村上正一課長補佐(兼)指導係長

〔概要〕

資料P2にあるように、有機農法や地産地消、学校給食自校化の取り組みの歴史や背景がある。

昭和57年は今治くらしの会(代表：阿部悦子氏)の学校給食の自校化運動、昭和63年は議員発議による「食糧の安全性と安定供給体制を確立する都市宣言」議決、平成11年は学校給食米を今治産特別栽培米(農薬・化学肥料50%以上削減)に切り替えるとともに学校給食用パン用小麦の栽培適性試験を開始、平成17年に12市町村と合併するが、新しい今治市においても「食料の安全性と安定供給体制を確立する都市宣言」を議決し、翌年平成18年には「今治市食と農のまちづくり条例」を制定している。また、平成15年には市農林振興課内に「地産地消推進室」を設置し、平成16年には小学校で食育モデル事業を実施している。

市民が主体的に関わり実現してきた、「食と農の安心・安全の取り組み」が、今もなお継続している。

○「食と農のまちづくり条例」は遺伝子組み換え作物の交雑の防止に関し、厳しい規制が明記され遺伝子組み換え作物の参入が不可能となっている。

○安心・安全の地域ブランドイメージ(現在、安心・安全をイメージするシールの作成中)直売コーナーで今治ブランド週間、「少し高くても地元野菜を食べよう」と広報。

○地域の有機野菜を学校給食で使う(洗う回数を増やす等工夫)\*地元野菜の優先使用(今治産5割)

○生涯食育(学校で学ぶことにより心身や人格に影響する)、食育プログラム研究会、食育モデル事業、食育研究会、キッズキッチンの取り組み等

〔所感〕

地産地消と食育の連携はいずれも農林振興課が所管しているから一体的に取り組んでいると推察される。学校給食の自校化で可能となるこの取り組みは、センター方式である米子市のなかでは難しいと感じた。しかし、かんきつ類以外は特徴的な農作物が無い中、「安心・安全の地域ブランド」を創っていくことは大いに参考となり、また、小学生からはじまる「生涯食育」の取り組みは参考となった。

## 大洲市視察報告

### 交流事業と観光まちづくり施策の取り組みについて

(令和元年7月4日) 13:00~15:00

大洲市役所

現地視察：臥龍山荘、大洲城

説明：商工観光部観光まちづくり課 河野悟久課長

(一般社団法人キタ・マネジメント事務局長)

商工観光部観光まちづくり課 谷野あき係長

#### 〔概要〕

約400年前、米子城2代目城主だった加藤貞泰が大洲城に転封となったのに伴って家臣や職人なども多数大洲に移り、その子孫が現在も存続しているという歴史的なつながりのある大洲市と米子市の文化交流について説明を受ける。例えば、「おせ」「がいな」「だんだん」といった方言の類似性など文化的にも深いつながりがある。

昨年、平成30年7月は豪雨災害により観光施設入込客数は減少したものの、一丸となり復興をめざしている。

地域DMO 一般社団法人キタ・マネジメントを設立する。市長がトップで事務局長は観光まちづくり課長、民間の企業団体、伊予銀行等と連携し、古民家再生や民泊事業等行っている。

インバウンド（訪日外国人旅行者）対策として、平成31年4月、伊予大洲駅構内に「伊予大洲駅観光案内所」及び「公衆トイレ」をオープン。英語が堪能な職員を配置し、外国人観光客を増やしている。

（運営は指定管理に一般社団法人キタ・マネジメントを選定）レンタサイクルで駅からの二次交通の実証実験中。



臥龍山荘、大洲城とも一般社団法人キタ・マネジメントが指定管理に選定されている。（年間約1000万円）



大洲城の復元については、天守の木組模型が棟梁であった中野家に残されていたため、当時の工法や素材（国内産）に拘り復元された。復元費用は約13億円であったが、約5億円は寄付で賄った。

〔所感〕地域の歴史、文化、自然を生かしながら民間事業者と連携し、観光まちづくりに活かしている。古くて新しいまちなみや、おもてなしの心、中江藤樹の教えなど、脈々と息づいていると感じた。地域DMOやインバウンド、文化交流等参考になった。今後も、その取り組みを注視しながら米子市のまちづくりに活かしていきたい。

## 松山市行政視察報告

### RPA 先進都市まつやまの実現に向けた連携協定について

(令和元年7月5日) 13:00~14:30

松山市役所

説明：産業経済部地域経済課産業創出・商業振興担当 鴻上哲史主査

産業経済部地域経済課 浅海優里主事

#### 〔概要〕

RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーション（英: robotic process automation、RPA）。パソコン上で行うキーボードやマウス操作によるデータ入力などの定型業務を自動化するソフトウェア・ロボットを意味する。

市内の中小企業（全体の99%を占める）は人手不足という課題を抱えている。松山市の人口は減少傾向となっており業務の効率化、働き方改革が求められる。

働き方改革推進プロジェクトは、多様な働き方を促進することが、人手不足時代に、労働力を確保し、生産性を上げる唯一の道だとし、市内企業等の業務効率化の促進を目的として、中小企業の人手不足解消のため新たな取り組み「RPA先進都市」をめざす。（市役所内部のRPAの取り組みは所管課が異なる）

#### 連携事項としては

##### ① RPAの周知啓発に関すること

関連機関、金融機関と連携しセミナー開催（50人定員がそれを超える参加者）

##### ② RPAの導入促進に関すること

導入コストに対して市が補助金（2分の1・50万円以内）市単独の補助金 1000万円の予算

\*NTTデータから2年目以降も50万円で継続との提案あり

\*NTTデータとのタイアップ事業という民間との連携等今後に期待

企業が導入にあたって業務の棚卸をすることにより、業務の効率化や働き方改革につながる。

##### ③ RPA関連人材の育成に関すること

人材育成セミナーの開催（トレーニングを積み上げることができ、そのことにより市内に住む人の所得をあげられるメリットが期待できる）

#### 〔所感〕

全国、企業の人手不足は大きな課題となっている。四国地方の中では50万都市の松山市であるが、人口減は顕著で地方経済の先行きが懸念される。米子市においても、有効求人倍率は2倍弱（1.89：本年5月）とバブル期よりも高く、離職率は高卒39.3%、大卒31.8%（平成27年調査：3年以内）と入社をしても定着が難しい状況である。その解消策のひとつとして、RPA導入は期待される。今回の視察を通し、RPA導入についての理解や知識を深めることができ、導入の課題についても、今後の松山市における施策の展開を注視していきたい。

行政視察行程 (会派：信風 3名)

月日	行程	宿泊先
7/3 (木)	<p>8:25 伯耆大山駅 岡山駅 今治駅 JR 特急やくも8号 JR 特急しおかぜ9号・松山行</p> <p>10:35 岡山駅 今治駅 13:39 今治駅</p> <p>【調査項目】 午後2時30分から午後4時00分まで 【議会事務局】 ☎0898-36-1580</p>	<p>今治アーバンホテル ☎0898-22-5311</p>
7/4 (木)	<p>8:51 今治駅 伊予大洲駅 JR 予讃線・松山行 JR 予讃線・伊予大洲行</p> <p>9:59 松山駅 伊予大洲駅 JR 予讃線・松山行 JR 予讃線・伊予大洲行</p> <p>10:20 伊予大洲駅 JR 予讃線・伊予大洲行</p> <p>11:30 大洲市役所 タクシー</p> <p>【調査項目】 午後1時00分から午後3時00分まで 【議会事務局】 ☎0893-24-1730</p>	<p>ホテルオータ ☎0893-24-3533</p>
7/5 (金)	<p>9:46 伊予大洲駅 松山駅 JR 予讃線・松山行 JR 予讃線・松山行</p> <p>11:11 松山駅 松山市役所 タクシー</p> <p>【調査項目】 午後1時00分から午後2時30分まで 【議会事務局】 ☎089-948-6652</p> <p>【調査項目】 「RPA先進都市まつやまの実現に向けて」に係る取り組みについて</p> <p>15:28 松山駅 岡山駅 伯耆大山駅 JR 特急しおかぜ24号 JR 特急やくも25号</p> <p>18:11 岡山駅 伯耆大山駅 タクシー</p> <p>21:16 伯耆大山駅 JR 特急やくも25号</p>	

旅費計算表

令和元年7月3日 ~ 令和元年7月5日 (2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線名	区キ数	間数	目的地までのキ数	運賃	グリーン	急行料金		泊料	料
								特別	新幹線		
7/3 (木)	伯耆大山駅 ~ 岡山駅 ~ 今治駅	JR JR				7,710 5,010	岡山往復割		議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 乙 13,300円	9,800円 7,800
7/4 (木)	今治駅 ~ 松山駅 ~ 伊予大洲駅	JR JR							1,500		6,000
7/5 (金)	伊予大洲駅 ~ 松山駅 松山駅 ~ 岡山駅 ~ 伯耆大山駅	JR JR JR				950 3,930			1,500		
計	議員 旅費 随員 旅費				41,480 0	17,600	0	5,580	4,500	0	13,800

出席 議員 中田利幸、安達卓是、伊藤ひろえ

議員旅費 41,480 × 3名 = 124,440 円  
 タクシー代 570 × 1 = 570 円 (伊予大洲駅⇒大洲市役所)  
 タクシー代 740 × 1 = 740 円 (松山駅⇒松山市役所)  
 タクシー代 700 × 1 = 700 円 (松山市役所⇒松山駅)  
 お土産代 6,480 × 一式 = 6,480 円 (今治市、大洲市、松山市)  
 旅費総額 132,930 円